

後援イベント「集まれ！アイライン」にて、講師及びシンポジストとして参加しました。

2024年6月30日 開催

キーワード：地域支援、人材育成

開催場所：ビッグルーフ滝沢（岩手県滝沢市）

2024年6月30日（日）、「集まれ！アイライン」イベントにおいて、社会福祉学部 鈴木あゆみ講師が、ワークショップ講師及びシンポジウムのシンポジストとして参加しました。

当イベントは、医療的ケアが必要な家族（以下、医ケア児という。）を持つ親の会「アイライン岩手の会」が主催し、岩手県立大学防災復興支援センター等が後援したもので、当事者の方、支援者の方、一般の方を対象とし、ビッグルーフ滝沢にて開催されました。

ワークショップでは、「マイタイムラインを作ってみよう！」と題し、大雨の際、参加者それぞれの自宅の場所にはどのようなリスクがあるかを確認したうえで、マイタイムラインシートに自身の行動計画について記載しました。ワークショップには、支援者の方、自治体職員等、19人が参加し、「災害を”自分ごと化”するきっかけになった」等の声がありました。

シンポジウムでは、「医ケア児の災害対策を考える」をテーマに、シンポジストから、それぞれの立場にて、今できることについてお伝えしました。鈴木講師からは、災害時に支援が必要な方は、支援者に対し、“ここまではできる。この部分で力を貸してほしい。”と伝えられるようにするためにも、訓練が大切であることをお伝えし、また、別のシンポジストからは、医ケア児避難訓練の体験を振り返り、「訓練をきっかけに、近所の企業に支援の相談をしてみたところ実現した」という事例紹介や、「医ケア児に快適な避難所は、障がいのない方全員にとって快適な避難所である」とのコメントがあり、参加した約70人は大きくうなずき、共感した様子でした。

岩手県立大学防災復興支援センターでは、今後も、医ケア児をはじめとする災害弱者の方の災害対策支援にも取り組んでまいります。



写真1、2 ワークショップの様子



写真3～6 シンポジウムの様子



写真7 運営スタッフ集合写真